



イワシ

香味酢締め
柑橘ジュレがけ

材料(2人分)

□イワシ(3枚おろし)/2尾分	柑橘ジュレ
□塩/適量	□白だし/30ml
□酢/50ml	□水/70ml
□ゆず果汁(またはすだち)/ 大さじ1	□柑橘果汁(ゆず・かぼすなど) /小さじ1
□みょうが/1個(みじん切り)	□粉ゼラチン/2g
□しそ/2枚(千切り)	
□しょうが/小さじ1(みじん切り)	

- (1)イワシに塩をふって10分置き、酢とゆず果汁で30分締める。
(2)香味野菜(みょうが、しそ、しょうが)を刻み、締めたイワシにのせる。
(3)ジユレは白だし+水+柑橘果汁を火にかけ、ゼラチンを溶かして冷やし固め、フォークでくずす。
(4)盛り付け時、香味イワシの上にジユレをのせて完成。



スズキ

湯引きとトマトのジュレ寄せ

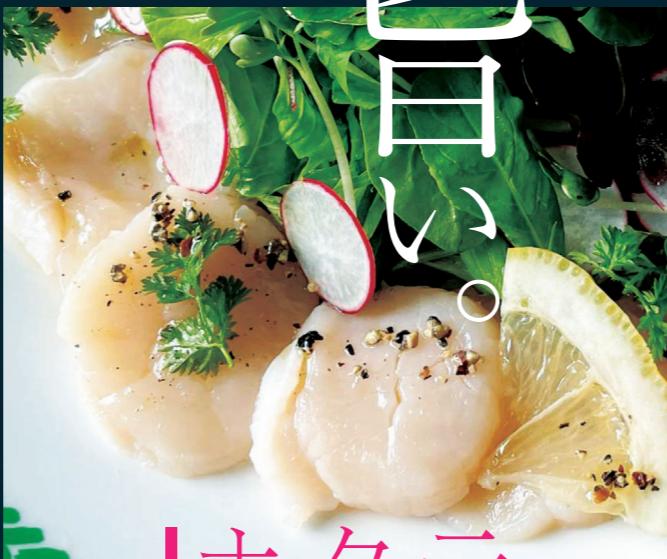
材料(2~3人前)

□スズキ(刺身用)/150g	
□塩/少々	
□トマト(完熟)/1個	
□コンソメ/100ml	
□粉ゼラチン/3g	
□白ワイン/大さじ1	
□塩・こしょう/適量	
□青じそまたはスプラウト/適量	

- (1)スズキは塩をふって10分置き、さっと熱湯をかけて氷水で冷やす=湯引き。
(2)トマトは湯むきして粗みじんに。コンソメと白ワインを合わせて温め、ゼラチンを加えて溶かす。
(3)トマトを混ぜたジュレ液を冷やして固める(型に流してもOK)。
(4)スズキを皿に並べ、くずしたトマトジュレをのせて、青じそやスプラウトを飾る。

冷やして
夏の海鮮は
ビュ
ー
イ
。

「かんたんレシピ 3選」



ホタテ

夏野菜の冷たい
バジルマリネ

材料(約2~3人前)

□ホタテ貝柱(刺身用)/ 5~6個	マリネ液
□ズッキーニ/1/4本	□オリーブオイル/大さじ2
□パプリカ(赤・黄)/ 各1/4個	□白ワインビネガー/大さじ1
□紫玉ねぎ/1/8個	□レモン汁/小さじ1
□バジル/3~4枚	□塩/小さじ1/3
	□胡椒/少々
	□おろしにんにく/少量 (好みで)

- (1)ホタテを横半分にスライス。野菜はすべて薄切りまたは千切りに。
(2)マリネ液の材料をよく混ぜ、すべての具材と和えて冷蔵庫で20~30分冷やす。
(3)器に彩りよく盛りつけ、バジルを散らして完成。

hokushin press

北辰
MARINE PRODUCTS

8 | AUG
2025とびきりおいしく
夏をのりきる

[わたりがに／太刀魚／スルメイカ]



Sa delicious!
SUMMER

ホクシンプレスが選ぶ
8月のおいしい海鮮



BLUE CRAB

soy sauce

HAIRTAIL

lemon cream saute

レモンクリームで纏う
太刀魚の淡白な旨味！

太刀魚のレモンクリームソテー

材料(2人分) ※白身魚、鰯、カジキでも代用可

- タチウオ切り身／2切れ レモンクリームソース
- 塩／少々
- 胡椒／少々
- 小麦粉／適量
- オリーブオイル／大さじ1
- 無塩バター／10g
- ディルまたはイタリアン パセリ／好み
- スライスレモン／好み
- 生クリーム／100ml
- 白ワイン／大さじ1
- レモン汁／大さじ1
- レモンの皮(すりおろし)／1/2個分
- 塩・黒胡椒／少々

- (1)タチウオの両面に軽く塩・胡椒をふる。
- (2)表面に薄く小麦粉をまぶす(余分な粉ははたいて落とす)。
- (3)フライパンにオリーブオイルとバターを熱し、中火でタチウオを両面こんがり焼く(2~3分ずつが目安)。
- (4)焼けたら一旦取り出し、アルミホイルで包んで保温。
- (5)ここからレモンクリームソース作り。同じフライパンに白ワインを加えて軽く煮立たせ、アルコール分を飛ばす。
- (6)生クリームを加えて弱火にし、とろみが出るまで煮詰める(1~2分)。
- (7)レモン汁とレモンの皮、塩・胡椒で味を調整する。
- (8)ソースの上にタチウオを戻し入れて少しなじませるか、皿にタチウオをのせて上からソースをかける。
- (9)好みでハーブやスライスレモンを添える。

ワタリガニを醤油ベースの
タレで韓国風に！

カンジャンケジャン

材料(4人分)

※甘エビ、いかで代用可

- ワタリガニ／1キロ (2~3匹)
- 醤油／200cc
- コチュジャン／大さじ5
- 韓国唐辛子／大さじ4
- おろしニンニク／大さじ2
- おろし生姜／大さじ2
- おろし玉ねぎ／大さじ2
- すりおろしリンゴ／大さじ3
- 水飴／大さじ2
- ゴマ油／大さじ3
- 白ごま／大さじ2
- お好みで小ねぎの輪切り／適量

- (1)ワタリガニをタワシでゴシゴシ洗って、水気を切ってから冷凍庫で2時間冷凍する。(滅菌するため必須)
- (2)冷凍している間にタレの材料を合わせておく。
- (3)冷凍庫から取り出したワタリガニのフンドシ、甲羅、砂袋、エラを切ったりして取り除く。爪先も食べる時に刺さると痛いのでキッチンバサミなどで切り落としてから、食べやすいサイズにぶつ切りにする。
- (4)熱湯消毒をしたタッパーにタレを入れ、切ったワタリガニを入れて冷蔵庫で1日漬け込む。
- (5)1日漬け込んだらお皿に盛り付け、お好みで小ねぎの輪切りをふりかけて完成。

SQUID

chinese spiced sauce

濃厚な風味でご飯がすすむ逸品！

スルメイカの中華香味醤油煮

材料(2~3人分)

- スルメイカ／1~2杯
 - 筍(水煮)／約100g
 - 乾燥きくらげ／約5g
 - にんにくの芽／4~5本
 - パブリカ／1/2個
 - にんにく・生姜／各1片
 - XO醤／大さじ1.5
 - ナンプラー／小さじ1
 - 醤油／小さじ1
 - きび砂糖(orはちみつ)／小さじ1/2
 - ライムorゆず果汁／小さじ2
 - ごま油／小さじ1
- (1)イカはワタと軟骨を取り除き、胴は細切り、足は食べやすくカット。きくらげは水で戻し、ざく切りに。にんにくの芽、筍、パブリカもカット。
 - (2)フライパンに油(大さじ1)を熱し、にんにく・生姜を弱火で炒めて香りを出す。
 - (3)筍、きくらげ、にんにくの芽、パブリカを中火でさっと炒める。続けてイカを加え、火を通しきないよう1~2分炒める。
 - (4) XO醤、ナンプラー、醤油、きび砂糖を加え、全体に絡めながら炒め合わせる。
 - (5)火を止めてから、柑橘果汁を回しかけ、ごま油を少量たらし、器に盛って完成。



【わたりがに】

ワタリガニは1年中食べられますが、旬の時期に食べることでより美味しく味わうことができます。オスとメスで旬の時期が異なるため、食べ比べをしてみるのもおすすめです。オスは5月から11月頃が旬で、身がぎっしりと詰まり、甘みが強いのが特徴です。特に晩秋の10月から12月頃が身が引き締まって美味しいとされています。メスは11月から4月頃が旬で、特に12月から6月の初旬にかけて内子(卵巣)が発達し、濃厚な味わいが楽しめます。4月5月頃のメスも内子がよく入り、真っ赤な内子が美味しいとされています。

[目利きポイント]

ワタリガニを選ぶ際は、生きているものを選ぶと良いでしょう。また、茹でガニの場合は、甲羅が鮮やかな朱色で艶があり、腹が白いものを選ぶと良いとされています。



【太刀魚】

太刀魚は、基本的に日本全国で獲ることができます。魚として知られています。温暖な海域を好む傾向にあるため、中国地方や瀬戸内海など、南日本や西日本近辺で獲れることが多いのだそう。また、九州地方でも魚が盛んです。大抵のお魚は、産卵期前後の肉厚さや脂のノリで旬が決まりますが、太刀魚は1年を通して脂ののり方がほぼ変わりません。いいて言えば、6月~10月の産卵期には群れで浅瀬に来ることが多いので、夏から秋にかけてが旬と言えるでしょう。

[目利きポイント]

大きさが1m前後の中身が薄く、小骨も多く小さいものは三枚におろすととても薄くなってしまうので、なるべく大きく身に厚みがあるものが良いでしょう。また、表面が美しく、身が締まっているものを選んでください。

【スルメイカ】

日本で捕れるイカの種類は、知られているものだけで約80種類、そのうち食用としては約20種類あるとされています。中にはある特定の地域でしか食べられない種類もあるため、20種類全てを知っているという人は少ないのではないかでしょうか。日本で捕れるイカの種類は、ツツイカ目とコウイカ目の大きく二つに分類されます。ツツイカ目は干物(スルメ)としても名前が知られているイカです。

[目利きポイント]

目が美しい墨で、体表の皮の色がはっきりと残っているものが新鮮です。なるべく透明感があり、ちょっと触った時にヌーッと色が変わる状態だととても新鮮な証です。鮮度が落ちると全体に白くなります。刺身で食べるよりも、焼いたり煮るなどの調理をした方が旨みを引き出せます。